

税理士法人 日本綜研 (福井)

東京の同業を傘下に

顧客首都圏進出を支援

税理士法人日本綜研（本部福井市手寄1丁目、岡田芳明理事長）は、東京の規模の大きな税理士事務所
の事業を譲り受け、傘下に収めた。北陸新幹線延
伸により福井をはじめ北陸と東京のつながりが強ま
る中、首都圏で強固な地盤を築き、顧客企業の首都
圏進出などをグループを挙げサポートしていく。

(坂下享)

新幹線延伸背景



日本綜研の本部が入居するビル＝福井市手寄1丁目

日本綜研は1958年創
業。従業員数は約90人で「5
人いれば多い」（同社）とい
われる業界内では大規模に
当たる。グループ内にコン
サルティング企業や社会保
険労務士法人、人材紹介企
業、不動産関連企業を抱え、
グループ合計の従業員数は
360人を超える。本業の
税務会計のほか、顧客の各
種コンサルに依拠している。
今回傘下に収めたのは、
税理士法人日の出事務所
（東京・江戸川区）。従業
員数は約30人で、約500
の顧客を持つという。岡田
理事長が以前勤めていた事
務所の縁で、今年6月、ころ
に事業承継の話が持ち上が
った。今月1日付で事業を
譲り受け、同事務所は解散。
日本綜研の一部門として、

日の出事務所を新たに立ち
上げた。岡田暉副理事長
が責任者に就いた。
日本綜研は、北陸新幹線
延伸による顧客のさまさま
なニーズに答えようと準備
を進めてきた。2022年
から23年にかけて富山、敦賀、
武生各事務所を開設。今回
の事業譲受で、首都圏と北
陸の緊密なネットワークが
形になった。
岡田理事長は「北陸の企
業が首都圏に進出したり、
首都圏の企業と取引したり
する際や、首都圏企業が北
陸の企業に関心を持った際
に一元対応する窓口となり
たい」と意気込みを語る。
企業のM&A（合併・買
収）に関するサービス提供
も行っており、税理士法人
を中核とするグループの強
みについて、岡田理事長は
「M&Aの成果を求めない
点と、企業会計を開示して
もらえるだけの信頼関係に
ある」と強調する。「今後
は東京の地盤をさらに強化
するとともに、関西や中京
にも拠点を構え、顧客企業
の発展の手助けをしていき
たい」と話している。

©福井新聞 無断複製・転載を禁じます